

市独自に少人数学級の推進を！



＝国が「35人学級の推進」をしない以上、さいたま市独自に学級定数の改善をしてほしいものです。＝

2015年6月衆院文教委員会下村文科大臣は、「教育現場が多忙化しているのに、財務省は4万2千人の削減を打ち出している。教員を減少させていいのか。」との質問に答えて「問題意識はまったく同じだ。学校現場は大変、複雑化、困難化しており、加配教員を充実させることが求められている。全体的な教員定数そのものについても戦略的に考えていくことが必要だ。」と答弁。さらに「根本的な基礎定数の改善が必要だ。35人学級の推進へ法改正を国として決断していただきたい。2016年度概算要求でもその立場で取り組んでほしい。」との要望に対し、大臣は「背中を押していただいたことを感謝している。定数改善を早急に進めたい。法改正を概算要求に入れることも含めてさまざまな方策を検討したい。」と、述べた。

さいたま市教組新聞

衆参文科委が全会一致で決議！

財務省の4万2千人削減問題に衆参文科委はそれぞれ「到底容認できない」と批判し、35人学級推進を求める決議を全会一致で可決した。「単なる財政面だけではなく、長期的なわが国のあり方を見通す広い視野を持って、教員定数の充実に向けて万全を期すべきである」と強調した。

決議の内容

- ① 教職員定数を計画的に改善する
- ② 小学2年生以上についても35人編成に引き下げる
- ③ 必要かつ十分な加配教職員が配置できるよう定数を確保する

文科省も財務省に反論！

学習集団が小さいほど「子どもたちの自己肯定感が高くなる」「落ち着きが高くなり、学力も高くなる」と指摘。

「世界一忙しい日本の教員のさらなる負担増加への対応が課題」だと文科省が主張し反論したが、財務省は予算を見送った。

No. 2 1 9
2015.11.14

【発行者】

さいたま市
教職員組合

048-641-6763

学級編成の標準は2011年に改訂された義務教育標準法で、小学校1年は1学級35人に引き下げられ、小学校2年以上も順次改定を検討・実施すると定められました。12年度は小2の35人学級のための予算措置もされました。安倍政権が発足した13年度以降、35人学級への動きがストップしています。しかし、国民の願いは35人学級の推進です。予算委員会で安倍首相は「35人学級の実現に向けて努力していきたい」と述べたのです。2016年度こそ実現させたいものです。文科省は16年度概算要求で「35人学級推進」のための予算要求を見送りしました。安倍首相の「努力」は結果的にリップサービスだったのでしょうか。